

## JISA 低炭素化社会実行計画 結果報告

環境・データセンタ部会

経済産業省 産業構造審議会 産業技術環境分科会 地球環境小委員会、流通・サービスWG（座長：鶴崎 敬大 株式会社住環境計画研究所 研究所長）が、令和5年2月1日、経済産業省において開催され、JISA（報告：環境・データセンタ部会 部会長 藤井 裕久 野村総合研究所）を含む10団体より、各団体の低炭素化社会実行計画に関する取り組み状況について報告があった。

### 説明の概略

#### ・オフィス部門

	基準年度 (2006年度)	2013年度 実績	2018年度 実績	2019年度 実績	2020年度 実績	2021年度 実績	2030年度 目標
生産活動量 [床面積km <sup>2</sup> ]	1.01	1.70	1.35	1.36	1.81	1.81	
エネルギー消費量 [原油換算：万kl]	5.9	8.8	5.1	4.9	5.5	5.3	
電力消費量 [億kWh]	2.4	3.0	2.1	2.0	2.3	2.2	
CO <sub>2</sub> 排出量 (万t-CO <sub>2</sub> )	9.8 ※1	16.5 ※2	9.6 ※3	9.0 ※4	10.0 ※5	9.5 ※6	
エネルギー原単位 [原油換算：万kl/km <sup>2</sup> ]	5.855	4.282	3.693	3.612	3.024	2.910	3.646
CO <sub>2</sub> 原単位 [万t-CO <sub>2</sub> /km <sup>2</sup> ]	9.66	12.008	7.073	6.634	5.554	5.249	

オフィスの原単位は昨年度比3.8%減となった。本年度もコロナ禍においてテレワークが進んだことにより、オフィスでの電力使用量が削減された。

#### ・データセンタ部門

	基準年度 (2006年度)	2013年度 実績	2018年度 実績	2019年度 実績	2020年度 実績	2021年度 実績	2030年度 目標
生産活動量 [万kl]	10.3	14.8	11.8	14.4	14.5	14.6	
エネルギー消費量 [原油換算：万kl]	21.0	27.6	21.6	26.0	25.6	24.7	
電力消費量 [億kWh]	8.6	11.3	8.8	10.7	10.6	10.2	
CO <sub>2</sub> 排出量 (万t-CO <sub>2</sub> )	34.6 ※1	64.0 ※2	40.8 ※3	47.7 ※4	46.8 ※5	44.5 ※6	
エネルギー原単位 [原油換算：万kl/万kl]	2.034	1.862	1.806	1.801	1.771	1.691	1.872

本年度は、昨年度と比べ原単位の値が大きく改善された。要因は、原単位の良いデータセンタを持つ企業が4社参加されたことである。また、省エネ活動への意識の高まりや、古いデータセンタから新しいデータセンタへの移設も進んでおり集約化の効果も影響している。

なお、2030年の目標についてすでに大きく達成していることから2022年11月に新たに設定した。次年度以降、新たな目標達成を目指しより一層の低炭素化に取り組んでいく。

**【目標】**

コロナ禍によって働き方が大きく変わった2020年を基準年とし、毎年原単位を1%改善することとする。なお、参加企業において再生可能エネルギーの導入が進んだ場合には、目標の見直しを実施する。

**当日の資料**

[https://www.meti.go.jp/shingikai/sankoshin/sangyo\\_gijutsu/chikyu\\_kankyo/ryutsu\\_wg/index.html](https://www.meti.go.jp/shingikai/sankoshin/sangyo_gijutsu/chikyu_kankyo/ryutsu_wg/index.html)

(大原)